

トキ生息環境整備地域活動事業支援状況(令和2年度)

資料5

整理番号	継続年数	団体名	職名	代表者名	団体所在地	構成員数	活動期間	活動目標	主な活動場所	活動内容・経費	助成の可否	実績事業費	助成対象経費	助成確定額
1	4年	トキ生息環境馬場保全会	会長	木林 吉春	佐渡市大和	19	R2.4 ～ R3.3	平成24年4月に自然界で初めて馬場集落にトキが誕生し、その後も毎年巣作りをしてこの地を生息の場として選り住みと共生していることに思いを寄せ、今後もトキが安全で安心して生息していけるよう自然環境の保護と整備を推進する。	大和馬場	○生息環境整備 ○水生生物調査・学習 ○トキに関する研修の実施	可	250,560	214,920	214,920
2	4年	トキと暮らす里山	会長	渡辺 治	佐渡市新穂湯上	6	R2.4 ～ R3.3	会員が生活を営む敷地内、田んぼ、森林に多くのトキが生息しており、トキの餌場・ねぐらの造成・維持管理を行いながら、トキと暮らす里山づくりを目指す。	新穂湯上	○放棄田でのビオトープ造成、草地管理 ○森林整備 ○営農田及び水路の維持管理	可	430,000	250,000	250,000
3	4年	コネクト	代表	嶋田 眞巴	神奈川県相模原市	33	R2.4 ～ R3.3	昨年に引き続き大佐渡地域でのトキ呼び込み活動を行う。学生、社会人関わらずトキの野生復帰活動・ボランティア活動に興味・関心のある人の交流を進める場の1つとして提供する。これまでの活動のノウハウを生かし大佐渡地域にトキを呼び込み定着させることを目標とする。	岩谷口集落	○ビオトープ整備 ※新型コロナウイルス拡大防止のため来島できず、事務経費のみ助成。	可	109,443	650	650
4	3年	朱鷺の棲む山田会	会長	佐藤 辰夫	佐渡市加茂歌代	8	R2.4 ～ R3.3	活動地区の水田や周辺林地にトキが通年生息するようになった。トキの餌場や巣材採集地、営巣地となる林地の維持管理を通して、生息環境の整備・保全を目指す。	佐渡市加茂歌代	○ビオトープの造成・維持管理	可	174,000	150,000	150,000
5	4年	湯上水辺の会	代表	板垣 徹	佐渡市新穂湯上	49	R2.7 ～ R2.11	トキが多数定着している新穂湯上地区において、これまでに整備されてきたビオトープの維持管理にとどまらず、地域に散在している耕作放棄状態の水田等をビオトープとして面的に整備し、その継続的な維持管理体制を構築したい。 機械使用で作業効率を高めるとともに作業日当をきちんと支払う仕組みとして平成29年度に組織した「ビオトープ整備隊」により、今年もビオトープの整備・維持管理活動を行う。 さらに、この取り組みを定着させることにより、現在進行中の天王川中流域自然再生事業と連携して、この地域一帯としての餌場環境整備を図る。	新穂湯上、田野沢、正明寺	○既存ビオトープの維持・管理	可	687,478	382,918	250,000
6	1年	NPO法人日本アメニティ研究所	理事長	加治 隆	埼玉県さいたま市	30	R2.9 ～ R3.3	日本における野生トキが永続的に生息するために、過去の生息状況、保全活動の実態を調査・研究し、その結果をまとめ次代を担う人々に提供することを目標とする。	—	○トキに関する資料収集、整理 ○調査研究報告書の作成、送付	可	294,890	294,890	250,000
7	5年	NPO法人トキどき応援団	理事長	計良 武彦	佐渡市新穂湯上	67	中止	野生復帰エリア内の重要箇所の森林・水辺をモデル的生息環境として一体整備する。新潟大学の人材養成講座卒業生を作業員として組織化する。	新穂湯上	○水辺ビオトープの整備 ※新型コロナウイルス拡大防止のため作業員が来島できず、事業中止。	—	0	0	0
合計												1,946,371	1,293,378	1,115,570

※振込手数料を含まない